

生活向上をめざす正念場のたたかい

91年度下期各単産別一時金要求比較表

部門・組織名	要 求 内 容
電 気 労 連	年間 標準労働者35歳男子 143万円以上
全 電 線	年間 5ヵ月以上
全造船機械	半期 800,000円以上
ゼンセン同盟	半期 2.6ヵ月以上
合 化 労 連	年間 6ヵ月以上
紙 パ 連 合	半期 3ヵ月分
ゴ ム 労 連	年間 5.5ヵ月分
食 品 労 連	年間 6ヵ月分
電 力 総 連	半期 815,000円+ 0.2ヵ月
非鉄金属労連	半期 実務員平均75万円
ホ テ ル 労 連	半期 3ヵ月分
運 輸 労 連	年間 120万円以上
炭 労	半期 550,000円
全 炭 鉱	半期 500,000円

三池港務所は六十五万円を要求

三井鉱山の平成三年度九月中間決算発表によると、石炭の売上高は減少したものの、当期利益は九億一千二百万円と好転しています。

三池港務所は、昭和六十一年以降「白黒分離」による独自路線を進め、「脱石炭、自立」の方針を強めています。

ここ数年、石炭社と比較して、一歩踏み込んだ回答を示していますが、それでもなお全国平均には程遠い実態にあります。

港務所も石炭同様、組合員とその家族の「生活」の向上をはかるために総力を結集してたたかおうではありませんか。

《期末手当闘争》

他産業との格差是正と

八次策前の水準への復元をめざそう

炭労の九一年度下期期末手当闘争は、昭和六十年度上・下期の妥結額四四四、五〇〇円の復元をはかることを当面の目標としてたたかわれます。

しかし石炭情勢は、来年四月一日より施行される第九次石炭政策が不透明な中で、厳しい交渉が予測される状況ではありますが、私たちの要求である五十五万円は他産業に比較すれば最低の金額であります。まして格差は年々拡大の方向となっており、依然として炭鉱労働者の生活向上には程遠い実態であります。

十一月十二日より石炭、十三日港務所それぞれ交渉がはじまりますが、私たちの切実な要求を勝ち取るために、すべての労働者が団結し、たたかいを強めていきましょう。

91年度上期石炭各社の妥結内容

社 名	妥 結 額
三 井 石 炭	4 1 1.0 0 0 0 円
松 島	4 1 1.0 0 0 0 円
住 友	4 0 6.0 0 0 0 円
太 平 洋	4 2 1.0 0 0 0 円
空 知	3 8 6.0 0 0 0 円

三池大災害二十八周年抗議 石炭と雇用を守る集会

と き 十一月九日(土) 十四時
と ころ 大牟田労働福祉会館 二階中ホール

※ なお、当日は二十四時間ストライキに突入します。



号 外

No. 430

1991. 11. 7

三 池 炭 鉱
労 働 組 合

電話 53-3033
炭 電 528

保安を守り労働条件向上のために力をあわせてたたかおう